



ひかりの散歩道  
2020-2021  
南国イルミネーション

湖面いっぱいイルミネーションが広がる「ひかりの蓮の花」。景内最大級280万球の電飾が照らす幻想的夜園内は見どころ盛りだくさんだ。

日本最大級の屋外型植物園「東南植物楽園」(沖縄市知花)のイルミネーション「ひかりの散歩道 2020-2021」が今年もスタートした。新型コロナウイルス感染拡大防止策で来場者を分散させるため、今回は2020年10月30日～2021年5月9日と期間を大幅に延長。さらに電飾数も昨年の180万球から280万球へとスケールアップしているという。沖縄の冬の風物詩である光のアートが長期間楽しめるのは明るいニュース。さっそく同園を訪れた。

写真と文：藤井千穂 取材協力：株式会社 東南植物楽園





「年間を通してさまざまな南国の植物が鑑賞できる公園です。ここで、イルミネーションにも植物を生かし、鮮やかな色合いで沖繩らしさを演出しています。フォトスポットやお子様と楽しめる体験型イルミネーションなどが人気ですよ」と新垣さん。高台へ向かう途中にある「ひかりの海」と名付けられたエリアでは、

南国ムード溢れるひかりの南国へ16のエリアからなる園内では、随所で趣向を凝らした演出が楽しめるそう。この日はいくつかのオースメスポットを新垣さんに紹介してもらったことになった。

ブルメリアの枝の形状を生かして赤いサンゴをイメージ。その間を泳ぐ熱帯魚は倉庫に眠っていた古い造作だそうで、70年代を思わせるレトロなデザインに思わず頬が緩む。約100メートル続く高台の「ヒスイカズラロード」は、3〜5月に青い花を咲かせるヒスイカズラをモチーフにしたもの。花の時期にはイルミネーションは取り外されるそうだが、満開の花とイルミネーションを同時に楽しむのもまたオツだろう。ヒスイカズラロードの脇に目をやると、そこではハート型の電飾で記念写真を撮っているカップルの微笑ましい姿が。園内では有料の周遊バスも利用でき、県内在住のファミリーから友人同士、外国人まで幅広い層が思い思いに過ごしている。

- 4: カップルや友人同士で楽し撮影も
- 5: 有料の周遊バス。この時期は無料でも乗るか
- 6: 美しい花を咲かせるヒスイカズラがモチーフの「ヒスイカズラロード」。3月からの花の時期に訪れるのもオススメ
- 7: おとぎ話の世界のようなエントランス近くのイルミネーション
- 8: 日常から離れた夢の世界への入り口を演出する「ひかりのトンネル」
- 9: 熱帯魚のレトロな造作がある「ひかりの海」。30年の歴史を誇る同園ならではのイルミネーション



- 1: 280万球の電飾が彩る東洋植物園のイルミネーション。今年は全国5880人の投票結果が裏ぶ「第8回イルミネーションアワード」にランクインした
- 2: 社員やスタッフ総出の飾り付けの際には電飾ひとつひとつをチェックする
- 3: 園内を案内してくれた新垣翔子さん



**アワード受賞の庄巻夜景**  
ゆったりと遅い午後のドライブを楽しみながらやってきた「東南植物楽園」。この日の案内役、新垣翔子さん・マーケティング部の新垣翔子さんとエントランスで落ち合い、まずはイベントの歴史を伺った。

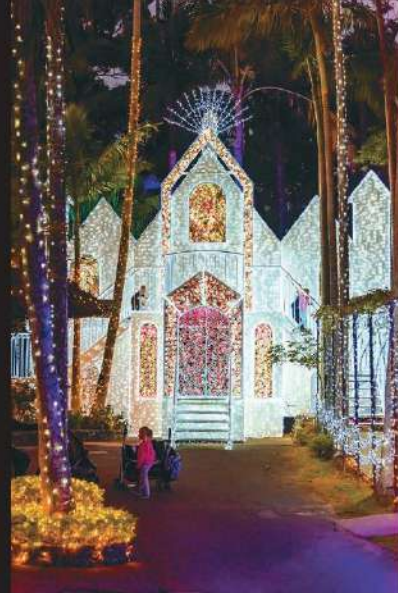
「1990年に日熱球50万個で園内を飾り付けたのが当園のイルミネーションの始まりです。2013年のリニューアル後は『植物園ならではの温かみあるイルミネーション』をコンセプトに、LEDを取り入れながら、毎年テーマを決めてデザインの上で規模の拡大をめざしています」

コロナ禍でイベントの中止・分散・オンライン化などが相次いでいる今年「訪れる人びとの心をすこしでも明るく前向きに」がテーマ。昨年

の180万球にLED100万球を追加し、装飾エリアも拡大したという。しかも、これだけ規模の飾り付けを社員やスタッフ全員参加で、思いをひとつにして行つたとか。驚きとともに、鑑賞への期待が高まる。「実はこれまでの30年間の取り組みが功を奏し、昨年は夜景観光コンベンションビューローの『日本夜景遺産』に認定されました。さらに今年11月には「第8回イルミネーションアワード」のイルミネーション部門第7位にランクインしたんです。どちらも沖縄初の快挙なんですよ」

同園のイルミネーション開催秘話に心温まり、数々の受賞にこちらまでうれしくなつたところで、時刻は点灯開始の午後5時。空にまだ明るさが残るなか、新垣さんといよいよ園内散策に向かうことに。





色とりどりに輝く植物の饗宴

ヒスイカズラロードを抜けた先に現れる「キャッスルエリア」では、高さ10メートルの白亜の城が観るものを圧倒。バラやユリの造花で彩られた壁をバックにインスタ映え写真を撮ったり、階段で2階が上がったりできる体験型の展示が斬新だ。また、園内一の高台にあるこのエリアは施設全体を見渡すことができるスポット。夕暮れ時に訪れて色鮮やかな木々と光り輝く電飾の饗宴を楽しむのもオススメだ。

絶景を鑑賞しながら階段を下り、ハート型の池に架かる橋を渡る。続いて新垣さんが案内してくれたのは、子どもたちに人気の「ツリーハウス広場」。ハンゴで木の上の小屋に登ることができ、趣向でももちろん大人の利用もOK。日常を忘れ、しばし子どもに戻るひとときもいいものだ。ここまでライトアップエリアの3分の2ほどを散策。週末はツリーハウス広場の向かいにある「菜園屋台」で温かいフードや飲み物片手に休憩もできるという。

の連。夏に満開になる蓮の花をイルミネーションで再現しました。設営にもっとも苦労した、今回二押し「のスポットなんですよ」。

新垣さんの言葉通り、広大な蓮池のまわりをぐるりと一周しながら目にする蓮の電飾やそのひかりを反射する水面は、永遠に眺めていたいほどの美しさ。途中、脇道に逸れて立ち寄った「ぼたるの森」で揺らめく幻想的な明かりや、蓮の花の上でくつろぐ野鳥の姿などにも癒やされ、散策が終わる頃には暗れやかな気分になった。

- 1:高台のキャッスルエリアには真っ白に輝く西洋風の城が
- 2:園内が一望できるキャッスルエリアからの眺めは感動的
- 3:子ども連れのファミリーに人気の「ツリーハウス広場」
- 4:新垣さんお気に入りの「ぼたるの森」はゆらゆらと揺れる電飾が幻想的に輝く
- 5:「ひかりの滝」池のまわりを1周するとさまざまな観めが楽しめる



- 6:オウムやインコのパフォーマンスを見ながら園内を散歩するさまざまな野鳥の生態を学べる「動感ふれあい野鳥」のプログラム(提供=東南植物楽園)
- 7:レストラン「PEACE」のガラス通りの店内からは園内を一望できる
- 8:焼き立てステーキやハンバーグが食べ放題のディナー。入園料とセットで料金がお得に(提供=東南植物楽園)
- 9:ビュッフェではサイドメニューも多めに提供。2021年1月12日~3月末は土日祝のみ開催(提供=東南植物楽園)



動物とのふれあいやディナーも

今年スケールアップした見どころを中心に、1時間ほどかけてイルミネーションを堪能したが、これだけのイベントを毎年開催するには手間も時間もかかりそう。

「当園にはイルミネーションの担当部署があつて、年間を通して企画や設置、片付けに携わっているスタッフがいいます。そのほかにも、植物観賞と併せてお楽しみいただいたプログラムやお食事をご用意しているんですよ」と新垣さん。

ファミリーにオススメなのは土日の「動物ふれあい教室」。現在はバードパフォーマンスショーと題し、オウムやインコとふれあいながら野鳥の生態を学べるプログラムを開催中だ(午前10時、午後3時の2回。入園料を支払えば参加無料)。

また「癒やし・健康」をテーマに、地元食材を使ったメニューがそろったレストラン「PEACE」も人気。イルミネーション開催中の2021年1月11日までは、サロインステーキとハンバーグが食べ放題のディナービュッフェを毎日開催しているほか、12月24、27日の4日間はクリスマススペシャルビュッフェ(要予約)を予定しているという。

明るい時間に入園して植物園散策やふれあい体験を楽しむもよし、ゆつたりとディナーを堪能しながらイルミネーションを満喫するもよし。同園では入園料が1%オフになる前売り券をHPで販売しているほか、当日料金にGOTOトラベルの地域共通クーポンを適用することも可。コロナ対策万全で思い出しのひとときを過ごしてみたいかがたろう。

東南植物楽園  
ひかりの散歩道  
2020-2021

期間:2020年10月30日~2021年5月9日  
サイトアップ(17:00~22:00)21:30最終受付  
入園料:大人1980円、高校生~シニア1210円  
小学生960円、6歳未満無料  
<https://www.southeast-botanical.jp/>

